

27

〔1〕 △ABCにおいて、AB=BC=12、CA=9である。辺BC上に点D、辺CA上に点Eを、
4点A、B、D、Eが同一円周上にあるようにとる。
面積について、△ABC=9△DEC のとき

$$\frac{DE}{AB} = \frac{\text{ア}}{\text{イ}}$$

であるから、DE = である。

また、BD = , EA = である。

〔2〕 円に内接する四角形ABCDがあり、AB=7、BC=3、CD=4である。いま、辺ABの
Bの方への延長と、辺CDのCの方への延長が点Pで交わり、PC=PB+1 である。この
とき

$$PB = \text{カ}, PC = \text{キ}$$

であり、AD = である。

ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク